

輝けロータリアン、ささやけ歴史の真実

～あなたの笑顔が見たいから～



行田ロータリークラブ

国際ロータリー第2570地区 第5グループ

2023-24RI 会長:ゴードン R.マッキナリー ガバナー:高丹秀篤 会長:坂本研一/幹事:小池俊輔
 例会日:木曜日午後 12:30 会場:ガーデンパレス 編集・発行:IT、公共イメージ向上委員会 委員長:小松和弘

第30回(第2729回) 2024年 3月 第2例会 3月17日(日)
 [地区大会]

RI 会長代理御夫妻歓迎晩晚餐会

3月16日(土)の夜に埼玉グランドホテル深谷において開催されました。

2023～2024年度 国際ロータリー第2570地区 RI 会長代理御夫妻歓迎晩晚餐会 次 第

司会 地区副幹事 大野 修司	横山 直子
17:10 晩晚餐会開宴	
RI会長代理御夫妻入場	
地区大会特別コンサート「Create Hope Concert」	
ソプラノ歌手 永井 美加・「トリオ・アンファリア」	
開会の言葉 地区大会実行委員会会長 田部井 荘	
歓迎の言葉 深谷ロータリークラブ会長 寺田 恭典	
ガバナー挨拶 ガバナー 高丹 秀篤	
RI会長代理挨拶 RI会長代理 井原 實	
乾杯 バストガバナー 相原 茂吉	
来賓紹介 ガバナー 高丹 秀篤	
歓談 ジャズバンド オカッパファンク	
手に手つないで	
閉会の言葉 地区大会実行委員長 小内 睦夫	
20:00 RI会長代理御夫妻退場	

2023-2024年度 国際ロータリー第2570地区
 RI会長代理 井原實様ご夫妻歓迎晩晚餐会

“Create hope” Concert

～ 深谷3偉人の関係した
 世界遺産富岡製糸場音楽物語～

2024年 3/16(土) 17:15～18:00

オープニング演奏 <トリオ・アンファリア>

- 「バルカロール」 オフフェンバック 作曲

トリオ・アンファリア演奏

- 高雅なワルツ集 D969 Op.77 より シューベルト 作曲
- オペラ「サムソンとデリラ」より デリラのアリア サン＝サーンス 作曲
- 「ボエム」 スズニエウ・フィビフ 作曲
- ピアノ三重奏 作品22 第三楽章 ヨハン・フアンメル 作曲

ピアノソロ
 <ユリア・レヴと富岡製糸場ゆかりの1874年製スタインウェイアップライト>

- 「SALTARELLE」 ルイ・フルヴェジュール＝ヴェリ 作曲

歌とピアノ <永井美加&ユリア・レヴ>

- アヴェ・マリア シャルル・グノー 作曲(リハ曲)
- オペラ「精短」より ジュゼッペ・ヴェルディ 作曲
- 不思議だわ! …… ～花から花へ～

歌とピアノと弦楽器演奏

- 落葉松 野上 彰 作詞 / 小林 秀雄 作曲
- ふるさと ※会場全員で歌唱 (歌詞は裏面に) 高野 辰之 作詞 / 岡野 貞一 作曲



2023~2024 年度 国際ロータリー第 2570 地区 地区大会

3 月 17 日(日)に深谷市民文化会館において開催されました。



フランクリンの十三徳

- 節制** 飽くほど食うなかれ。酔うまで飲むなかれ。
- 沈黙** 自他に益なきことを語るなかれ。駄弁を弄するなかれ。
- 規律** 物はすべて所を定めて置くべし。仕事はすべて時を定めてなすべし。
- 決断** なすべきをなさんと決心すべし。決心したることは必ず実行すべし。
- 節約** 自他に益なきことに金銭を費やすなかれ。すなわち、浪費するなかれ。
- 勤勉** 時間を空費するなかれ。つねに何か益あることに従うべし。
無用の行いはすべて断つべし。
- 誠実** 詐りを用いて人を害するなかれ。心事は無邪気に公正に保つべし。
口に出だすこともまた然るべし。
- 正義** 他人の利益を傷つけ、あるいは与うべきを与えずして人に損害を及ぼすべからず。
- 中庸** 極端を避くべし。たとえ不法を受け、憤りに値すとも、激怒を慎むべし。
- 清潔** 身体、衣服、住居に不潔を黙認すべからず。
- 平静** 小事、日常茶飯事、または避けがたき出来事に平静を失うなかれ。
- 純潔** 性交はもっぱら健康ないし子孫のためにのみ行い、これにふりて頭脳を鈍らせ、
身体を弱め、または自他の平安ないし信用を傷つけるがごときことあるべからず。
- 謙遜** ソクラテスに見習うべし。

ベンジャミン・フランクリン (Benjamin Franklin) は、アメリカ合衆国の政治家、外交官、著述家、物理学者、気象学者です。印刷業で成功を取った後、政界に進出しアメリカ独立に多大な貢献をしました。また、風を用いた実験で、雷がelectricity (電気) であることを明らかにしたことで知られています。勤勉性、探究心の強さ、合理主義、社会活動への参加という18世紀における近代的人間像を象徴する人物といえます。己を含めて権力の集中を嫌った人間性は、個人崇拜を敬遠するアメリカの国民性を超え、アメリカの父として讃えられています。

『自伝』によると、1728年ごろに彼は「道徳的完全に到達する大胆で難儀な計画」を思いつきました。この理想を実行するため、自らの信念を十三の徳目にまとめたのです。彼は毎週、一週間の徳目の一つに捧げて、年に4回この過程を繰り返したそうです。

